

## 輸送動向について（平成26年度上半期）

平成26年10月

### 1. 輸送概況

上半期は、大型の台風8号の上陸とそれに伴う中央西線の不通、台風11号の上陸の影響を強く受けた。また、江差線において貨物列車の脱線事故が発生し、上半期全体では高速貨628本、専貨152本が運休した（前年同期間は高速貨1,012本、専貨12本が運休）。

コンテナ貨物は、北海道産野菜の好調な出荷が寄与した農産品・青果物、消費税増税後も堅調な出荷となった紙・パルプが前年を大きく上回った。菓子や清涼飲料水が好調だった食料工業品や、一部荷主の鉄道へのシフトが進展した積合せ貨物等も増送となった。一方、自動車部品が海外および現地調達化の拡大により減送となり、エコ関連物資も災害廃棄物輸送の終了に伴い前年を下回った。結果、全体では前年比103.4%となった。

車扱貨物は、石油が北海道での輸送終了に伴い減送となったのをはじめ、各品目が前年を下回り、全体では前年比93.9%となった。

### 2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	10,535	10,192	103.4%
車扱	3,816	4,064	93.9%

### 3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	885	770	115	114.9%
	化学工業品	1,006	976	30	103.1%
	化学薬品	717	684	33	104.8%
	食料工業品	1,719	1,630	89	105.4%
	紙・パルプ	1,635	1,531	104	106.8%
	他工業品	756	792	-36	95.5%
	積合せ貨物	1,142	1,096	46	104.3%
	自動車部品	371	446	-75	83.0%
	家電・情報機器	239	229	10	104.6%
	エコ関連物資	190	235	-45	80.7%
	その他	1,875	1,802	73	104.0%
	コンテナ計	10,535	10,192	343	103.4%
車扱	石油	2,443	2,606	-163	93.7%
	セメント・石灰石	665	673	-8	98.8%
	車両	376	398	-22	94.4%
	その他	332	387	-55	85.8%
	車扱計	3,816	4,064	-248	93.9%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）